

# 在家仏教講演会 開催ご案内

東京 時間：午前10時～11時30分  
 会場：中野サンプラザ7階研修室10または13（中野区中野4-1-1）  
 会場整理費：700円 お問合せ：03-6684-6692

9月14日（土） 迷いからの脱出—問いの中に答えあり  
 武田定光 先生 真宗大谷派因速寺住職

9月28日（土） 迷いからの脱出—キリスト教における迷い  
 佐藤 研 先生 立教大学名誉教授

10月12日（土） 迷いからの脱出—私の愚を守る  
 大童法慧 先生 一般社団法人悲しみを佛の智慧に学ぶ会代表理事

10月26日（土） 迷いからの脱出—人生は迷いと悟りの織物  
 田上太秀 先生 駒澤大学名誉教授

11月9日（土） 迷いからの脱出  
 阿満利磨 先生 明治学院大学名誉教授

12月14日（土） 迷いからの脱出  
 伊藤 益 先生 筑波大学教授

1月11日（土） 心を見つめて迷悟を知る—三国に渡る変遷  
 蓑輪頭量 先生 東京大学教授

1月25日（土） 迷いからの脱出—大悲の光明に照らされて  
 本多弘之 先生 親鸞仏教センター所長

大阪 時間：午後3時～4時30分  
 会場：堂島アバンザ5階または14階会議室（北区堂島1-6-20）  
 会場整理費：500円 お問合せ：06-6346-7000

9月20日（金） 維摩経を読む  
 西村恵信 先生 花園大学名誉教授

11月15日（金） 演題未定  
 山田法胤 先生 法相宗大本山薬師寺長老

3月6日（金） 演題未定  
 奈倉道隆 先生 東海学園大学名誉教授

# いのち尊し

第29号  
 いのち尊し  
 令和元年  
 9月1日  
 公益社団法人  
 在家仏教協会  
 〒101-0062  
 東京都千代田区  
 神田駿河台3-3  
 五明館ビル202号  
 TEL  
 03-6684-6692  
 FAX  
 03-6684-6709

## 「文化の影響を考えて」

### 常包芳樹（協会会員）

夏の暑さに閉口していた中、英国でのゴルフ大会で渋野選手が優勝したとのニュースが飛び込んだ。テレビ画面に映された笑顔も清涼感を与えたのか、報道は連日沸き立った。両親や家族との暮らしぶり、学生時代の過ごし方なども取り上げながら、新星誕生の秘密をマスメディアは伝えていた。

この時期、社会心理学者の論文を読んだ。（『社会心理学概論』ナカニシヤ出版 第十四章文化内田由紀子著）。内田氏は文化の産物としてメディアを取り上げ、オリンピック選手に関する報道

（選手のコメント、記者や解説者の分析など）を調査したところ、日米のメディアでは取り上げる話題に傾向差があると報告していた。アメリカでは選手の強さやライバルとの関係など競争性に基づいた説明や勝因分析に焦点が当てられる傾向が強い。

一方、日本ではライバル以外の他者（家族、コーチ、友人）に関する言及がアメリカより多く、勝敗に関わる環境要因など様々な観点を報道しているようだ。また、アメリカでは選手の弱さなど否定的要素には注目しないが、日本では弱点や怪我などの要素も取り上げられているとも記されていた。スポーツ選手育成の面で文化の違いがあることと同時に、私たちはニュースに接しながら、文化の影響を受け、文化を伝えていることに気づかされた。

\*

文化の違いが生まれた要因は、気候や風土を含めた自然環境か、農耕や狩猟などの生活形態か、宗教の影響はどう関係するのか、など関心は広がる。また、異なる文化が出会ったときどんな反応が起こり、二つの文化はそれぞれどう変化するのか、この謎も気になる。

さらに、この論文に示された勝利をもたらず要因への関心の違いが、教育などの面でどのように現れているのか興味をそそられる。文化をめぐる問題は広くわからないところも多い。しかし、文化の違いが、見えないところにも浸透し、その影響を受けながら生活していることは間違いない。箸を使つての食事や、室内では靴を脱ぐなど、わかりやすいところだけが文化の違いではないようだ。文化が生み出したものは、和食、洋食の違いや歴史を刻んだ遺跡、あるいは芸術作品など、感動し共感を覚えるものに限らない。二つの文化が接触した時に摩擦熱が出て、紛争に至った事例も少なくない。

文化には光と影があるようだ。できるだけ影を減じて光を増やしたい。しかし、長い年月をかけて築かれた文化の壁を一朝一夕に取り払うのは難しい。文化にはマイナスの作用があることに、とりあえず気づくことだ。

\*

宗教が文化を築いた重要な基盤

のひとつであることは確かである。現代の日本もその影響を受けていることは否めない。どんな宗教がどんな影響を残しているのか、その点はいろいろ見方があろう。ここで、文化の否定面を気づかせる教えを、仏教が有していることを強調したい。私たちは文化を通して、世界を認識している。はずせない色眼鏡をかけているわけだ。釈尊が「無明」と語り、人間の認識を覆う闇を説いたのも、そうした人間のあり方への警鐘だと思ふ。〈色即是空〉を唱え、絶えざる否定を通して世界を固定的に理解しないよう大乘仏教は教えた。仏教の〈唯識〉思想は、人間の内面に潜む無意識を〈阿頼耶識〉概念で分析し、気づかない行動への振り返りを論じた。そして、親鸞聖人は人間を等しく〈凡夫〉とみる人間観を示した。その闇を明るくするものとして、インド原語で無量の光を意味する〈阿弥陀〉への帰依を説き、「自力」の限界をわきまえるよう書き記した。

渋野選手活躍の明るいニュースに続いて、心を暗くする貿易摩擦や国家間の軋轢に関する報道が続いた。文化の落とす負の影が色濃くならないことを祈りたい。

# 仏教と私

## 女人成仏への思い

佐野匡司（協会会員）

六月十八日の朝日新聞の文化文芸欄に、ある宗派の企画展「仏典の中の差別」で「女人五障」「変成男子」などのパネル展示が中止になったとありました。「(経典などは)著された時代社会の状況が色濃く反映されており、現代に生きる私たちにとっては受け止めがたい表現がある」との理由です。

「女人五障」とは、「女人の身には五つの障りがある。梵天王、帝釈、魔王、転輪聖王、仏身にならない。「ことです。しかし「女人の身」と言っているのが「女人」のことではなく「女身」のことです。「女身は垢穢」ともありません。「女身五障」です。女性の身体的特徴が障りなのです。

梵天王、帝釈、魔王の三つは神話の中の存在で、もとより男性です。説話によれば、転輪聖王と仏の二つは人が成るものです。在家ならば転輪聖王となり、出家ならば仏陀となります。人が仏になる

# この一冊

## SALLiA著『生きるのが苦しいなら』～仏像と生きたCROSSING～(キラジエックス)

上村隆利（協会会員）

本書は、歌手・音楽家でありながら「仏像オタクニスト」のSALLiAさん自らが受けた、いじめや事故などの苦しみの中で仏像と出会って救われた半生を綴っている。

SALLiAさんは、小学生の時、いじめを受けていた。それが次第にエスカレートし、持ち物をゴミ箱に捨てられたり、無視されたり、殴られたり蹴られたりというものに変わっていった。もう死にたい。限界を感じていたある日、いじめっ子のリーダーのAちゃんが、お母さんに罵倒されているのを目撃した。

「Aちゃんはいいつも、あんな風にお母さんに怒鳴られて、打たれ泣きながら家を飛び出しているのだろうか」。そして、その子への憎しみが悲しみに変わったという。

## 原稿をお待ちしています

- ◇随想「仏教と私」（八百字以内）  
人生を振り返って仏教と出逢ったときの感動をお書きください。
- ◇読者からの手紙（八百字以内）  
講演会（講演録）の感想などをお書きください。
- ◇コラム「この一冊」（八百字以内）  
感銘を受けた書籍を紹介してください。新刊だけでなく、思い出の本も歓迎します。著者名、出版社名、発行年を忘れずに。

原稿用紙またはメールに添付して、左記宛てにお送りください。住所、氏名、電話番号、よろしければ職業と年齢もお書きください。編集上の都合で、趣旨を変えない範囲で削ったり直したりする場合があります。採用分には薄謝をお送りします。原稿の送り先は、〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台三三三 五明館ビル

\*

二〇二二 在家仏教協会「いのち尊し」係。メールはkamimura@zaikeshi.jp

# 在家仏教通信

## 「大法輪十月号」に在家仏教講演会の講演録が掲載されました

靈魂論の現在まで

竹内整一  
(鎌倉女子大学教授)

平成三十年四月二十八日(土) 中野サンプラザで開催されました定期講演会において、竹内整一先生よりお話を伺いました。

## 会員を募集しております

私どもは、皆様の会費によって活動しております。協会の発展のためにご協力を宜しくお願い致します。

- 年会費
- 賛助会員 一万七千円(一口)
- 正会員 八千円
- 会員へのサービス

★月刊誌「大法輪」を毎月お届けします

★機関紙「いのち尊し」を毎月お届けします

★講演会の動画を視聴できます

★協会六十周年記念誌二冊を贈呈します

『講演集「悲喜をよろこぶ」』

『「対談集」掌を合わせて生きる』

# ご寄付のお願い

当協会は、東京、大阪にて講演会活動を行っておりますが、その多くは寄附金によって賄われております。講演会の存続のために温かいご支援をお願い致します。

協会への寄附金は税制優遇が受けられます。個人様からの寄附と法人様からの寄附について、事例を上げてご案内いたします。

## ★所得税

所得金額から「寄付金(所得金額の40%が限度)ー2,000円」を控除することができます。

## 事例

年中の総所得金額が500万円、寄附金の合計額が20万円の場合

20万円ー2,000円＝19万8,000円が、総所得金額より控除されます。

## ★法人税

法人が支出する寄付金は、その法人の資本金等の額、所得の金額に応じた一定の限度額までが損金に算入されます。このとき、公益法人に対する寄付については、一般寄付金の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額が設けられております。

## 事例

- ① 一般損金算入限度額Ⅱ(10億円×2.5/1000)+ (1億円×2.5/100)×0.25
- Ⅱ125万円
- ② 別枠の損金算入限度額Ⅱ(10億円×3.75/1000+1億円×6.25/100)×0.5
- Ⅱ500万円

したがって、①②の合計額625万円の損金算入が認められます。

